

社会福祉法人 日本原荘

福祉だより

vol.124

令和7年6月1日

編集発行

社会福祉法人 日本原荘

〒708-1205 岡山県津山市新野東1797

TEL (0868) 36-3838

<https://www.nihonbara.or.jp>

令和7年度事業方針

シリーズ 日本原荘施設紹介④

第3 日本原荘

考えてみましょう

家族や高齢者等の避難計画

ケアマネジャーの役割

TOPICS 近況報告



令和7年度 事業方針

本部事業方針

次期の介護保険制度改正に向けた議論が社会保障審議会介護保険部会で始まり、「2040年に向けたサービス提供体制のあり方」検討会が設置され、地域包括ケアの理念を維持しつつも、人口減少スピードの地域差に応じたサービスモデルの構築や支援体制を図る必要性が示されました。

既にサービス需要が減少に転じた中山間地域・人口減少にある当法人では、事業を展開する地域の少子高齢化の推移を把握し、適正な事業規模を検討しながら介護事業に従事する多様な人材の確保に努め、ICTや福祉機器等を活用して職員の負担軽減と生産性の向上を図りながら人材育成に取り組み、利用者に安全で適切な介護が提供できるように努めます。

介護サービスの利用に関して、低所得者については社会福祉法人の利用者負担軽減制度や低額老人保健施設利用事業を実施します。

福利厚生面では、ライフワークバランスのサポートを充実させ、育児や介護といったライフイベントに対応するための休暇制度を充実させ職員に活用を促しながら、能力向上を支援し、働きがいと働きやすさを向上させることで事業の安定性を確保します。

地域における公益的な取り組みでは、地域連携担当者を配置し、生活支援サポーターと協働し日常生活圏域内の独居・高齢世帯の生活を支援するとともに、高齢者が自宅で生活が続けられるよう昼食の配食サービスも引き続き提供します。

また、他法人とも連携してフードバンクやフードドライブ、児童の居場所づくりのサポート等にも取り組みます。

<中長期計画>2025年から2034年間の取り組み

①地域の人口動態の変化に伴う法人の事業所展開等に向けた検討と対応

- それぞれの拠点で適正な事業規模にする
- 高齢者の住まいである軽費老人ホームの在り方を明確にする

②「働き方改革」への対応と働きやすい職場づくり

- 多様な人材の活用を促し、ハラスメント対策を徹底する
- 多様な働き方を提案し、誰もが働きやすい職場環境の整備に努める
- 福祉サービスの質と生産性の向上を図る

③地域共生社会の実現に向けた法人内での取り組み

- ガバナンスの確立に向けて、経営状況の課題を整理し、各種法令等を遵守し、健全で安全な法人経営に努める
- 他法人や団体と連携して地域生活課題に対応した生活困窮者支援を含む地域における公益的な取り組みを実施する

④災害時等における事業継続の構築に向けた取り組み

- 有事の折でも、より平時に近い環境で利用者に安定した介護サービスが提供できるよう、事業継続計画を基に訓練を実施するとともに見直しに取り組む
- 地域の町内会等と「災害時における相互協力に関する協定」の締結に向け協議を継続し、早期に実現させる

特別養護老人ホーム 日本原荘

科学的介護に基づいた個別ケアの実践

世界に類をみないスピードで高齢化が進み、国民の4人に1人が75歳以上の後期高齢者となる年を迎え、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう「住まい」、「医療」、「介護」、「生活支援」、「介護予防」をトータルにサポートする仕組みである地域包括ケアシステムが展開されます。

当施設では、介護度や自立度のアセスメントを実施し、必要な福祉機器や福祉用具等を活用して、利用者と職員が安全で身体負担が軽減でき、自立支援と重度化防止にも効果のあるノーリフトケア導入に取り組み、職場労働環境の改善に努めていきます。

また、労働力人口が減少するなか、良質な介護サービスを提供するための人材育成として、各種研修会に参加を促し、能力向上を図り、資格取得に向けてサポートするとともに、働きやすい職場づくりに努めていきます。



研修風景

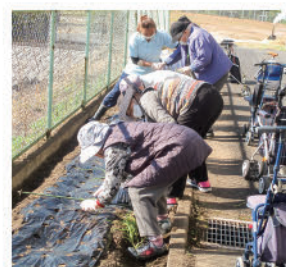
軽費老人ホーム 第2 日本原荘

ご利用者が入ってよかったと思ってもらえることにチャレンジする

施設で長く生活ができることが、ご利用者やご家族が最も望まれることですが、ただ漠然と日々を過ごすということではなく、当施設に入ってよかったと思えることにチャレンジし、ご利用者のやる気を引き出し、ひいては「利用期間が延び」、「入りたいと思ってもらえる」施設を目指します。



夏祭り射的



苗の植え付け

特別養護老人ホーム 第3 日本原荘

生き生きとした生活を目指し

ご利用者に生き生きとした生活を送ってもらえるようサービス提供に努めます。

ご利用者一人ひとりに合わせた個別ケアを行い支援していきます。

ご利用者、職員の笑顔が絶えない施設として今年度も努めてまいります。

また地域の福祉拠点としても役割を果たしてまいります。



全員集合!!



美作大学とオンライン交流



サツマイモ掘り

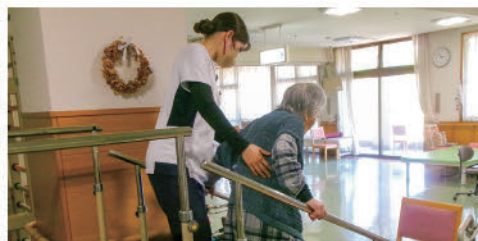
介護老人保健施設 津山ナースングホーム

総合的なサービスの向上

ご利用者の想いやニーズをもとに、多職種連携による医療、介護、リハビリテーションを提供します。また、人権尊重や虐待防止の徹底を図ります。

専門職としての技術・技能の向上、事故予防等の対策を継続的にを行い、快適で笑顔あふれる療養（生活）が送れるよう努めます。

継続的な在宅復帰を支援していきます。



リハビリ風景

総合ケアサービスセンター かつた

安全安心な介護を目指して

ご利用者と職員の安全安心な介護の実践を目指して日々取り組んでいきます。また、生産性向上の一環として、情報共有・記録の効率化・担当業務の見直し・コミュニケーションツールの導入によるスタッフ間の連携とご利用者ご家族への情報提供を迅速かつ正確に行ってまいります。

日常業務を通じた人材育成を行うため、業務内容の統一と指導方法の標準化を図ってまいります。



リフトケア実践に向けた取り組み

日本原荘 在宅部門

- 日本原荘 居宅介護支援事業所
- ホームヘルパーステーション 日本原荘
- デイサービスセンター 日本原荘
- 日本原荘在宅介護支援センター

業務のICT化を進め、効率的な業務を行い、多職種連携を図ります

介護業務のICT（情報通信技術）化が求められています。

在宅介護部門では電子機器（パソコン、タブレット、スマホ、介護ロボット等）を活用して科学的、効率的、負担軽減等を図り、介護・介護連携を進めてまいります。



研修風景



在宅介護部門 職員一同

今回は、

第3日本原荘

について

特別養護老人ホーム

をご紹介します。

認知症高齢者に向き合って40年の経験と自立支援介護の取り組み。

認知症高齢者の方への対応を模索していた昭和50年代後半に、認知症高齢者専用施設としてモデル事業的に開設した特別養護老人ホーム第3日本原荘は、設立当初から一貫して、認知症症状により在宅生活が困難となった高齢者の方に、安心して生活を送っていただける環境と介護のあり方を追求してきました。

今まで培った経験と自立支援介護を融合させて、サービスの質の向上に取り組み、地域の皆様にとって貢献度の高いサービス提供に努めています。



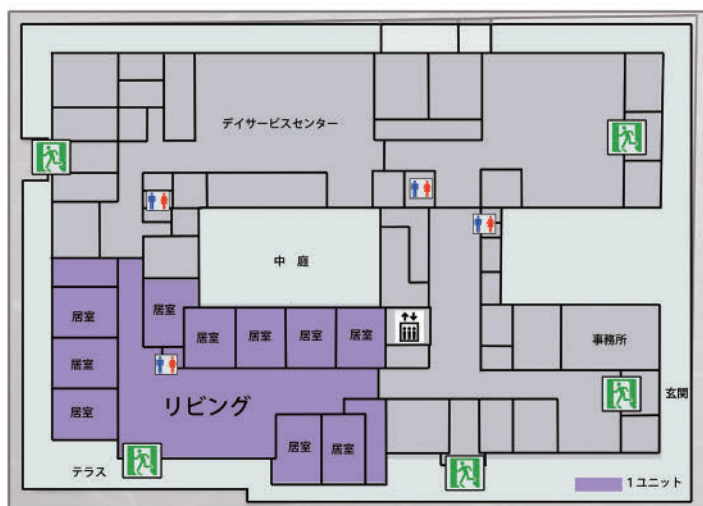
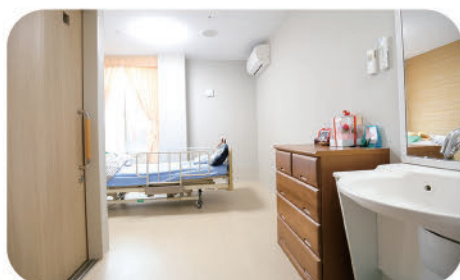
ご利用者にとって「豊かで生きがいのある老後」が過ごせるように、少人数グループ（10人）をひとつの生活単位（ユニット）として、1ユニットごとに専用の居住空間と専任の職員を配置することにより、家庭的な雰囲気の中できめ細やかなケアを行っています。



●ユニット型施設

【ベッド数】50床

【ユニット型個室】50部屋



特別養護老人ホーム第3日本原荘では以下のサービスを行なっています。

食 事

生活において大きな楽しみである食事は、季節感を味わえる旬の食材を用いて管理栄養士が献立を作成します。

状態に応じた形態で提供し、栄養バランスや嗜好面にも配慮しています。

排 泄

ご利用者ごとの排泄リズムを把握し、排泄の支援を行ないます。

極力トイレでの排泄ができるよう支援し、快適な生活が送っていただけるよう配慮します。

入 浴

身体状態が低下した方でも、無理なく入浴していただけるよう特殊浴槽の設備を設けております。

身体状況に応じて一人ひとりゆっくりと入浴していただけるケアを提供しています。

行 事

ご利用者に季節を感じていただくため、季節に応じた行事を職員含めてみんなで楽しく行っています。



健 康 管 理

配置医師の定期的往診や協力医療機関との連携により、ご利用者の健康管理に努めています。

配置職員である看護職員は日中を主として勤務し、配置医師や他職種と連携してご利用者の健康管理に関わる業務を行ないます。

夜間については、夜勤介護職員との連絡体制を整備しており、必要に応じて対応します。



玉ネギの収穫



ソーメン流し



しめ縄作り

1日のスケジュール (一例)

A M		P M	
🕒 6:30	起 床	🕒 13:00	排 泄
🕒 7:10	朝 食	🕒 14:00	レクリエーション
🕒 8:00	排 泄	🕒 15:00	おやつ休憩
🕒 10:00	入 浴	🕒 16:00	生活リハ
🕒 11:00	排 泄	🕒 16:30	排 泄
🕒 12:00	昼 食	🕒 17:15	夕 食
		🕒 19:00	排 泄
		🕒 20:30	就 寝

入所対象

- 65歳以上であり要介護3以上の認定を受けた高齢者
- 40～64歳であり特定疾病が認められた要介護3以上の認定を受けた方
- 特例により入居が認められた要介護1～2の認定を受けた方

お問い合わせ先・ご不明な点は

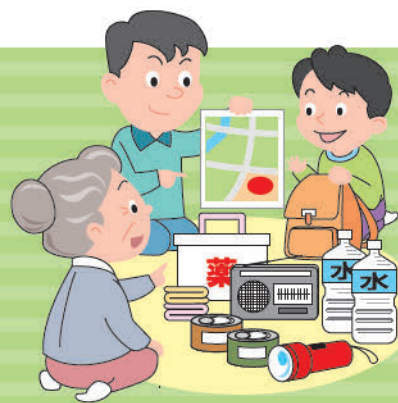
第3日本原荘

☎0868-36-3838 まで

考 え て み ま し ょ う

家族や高齢者等の

避難計画



懸念される大規模な自然災害

大雨や台風の襲来が心配される季節になりました。これまで、岡山県は、他の地域と比較して大きな自然災害が少ない地域だと言われてきました。

しかし、地球温暖化の影響や大規模災害の発生が全国的に報道される中、岡山県においても、集中豪雨や南海トラフ地震の発生が懸念されています。

家族の避難計画を 考えよう

家庭の防災対策を考える際、ご家族と併せてご両親や祖父母など、身近な親族の防災対策も考えてみましょう。

大雨や台風などの気象災害は、発生の時期や被害の規模はある程度予想ができます。

しかし、必ずしも、家族全員が適切な判断や避難行動ができるとは限りません。日頃から家庭内で災害発生時の避難行動を話し合っておくこと

が大切です。

その行動を時系列に整理したものが「マイ・タイムライン」(家族の避難計画)です。「マイ・タイムライン」の様式は、津山市のホームページでも紹介しているので、参考にしてください。

(※二次元コードを左下に掲載)

高齢者などの避難計画 も考えよう

これまで全国で発生した大規模災害では、高齢者や障害がある方など一人で避難できなかったり、避難行動に時間がかかる方々(災害時避難行動要支援者)の避難をどのようにに支えていくかが課題とされてきました。これは、家族だけでは、なかなか解決ができません。課題であり、町内会などの地域や介護事業所、行政などさまざまな団体が日頃から連携しておくことが必要です。

これら、災害時に自力で避難することが難しい方の避難先や避難を支援する人などをあらかじめ具体的に決めてお

くものが「個別避難計画」です。

この計画の作成対象者は、主に、日常生活で介護や介助、医療支援が常に必要な方です。家族や近所にそういった方がおられる場合は、作成を検討してみてください。

計画の様式は、津山市のホームページにあるので、参考にしてください。

(※二次元コードを左下に掲載)

地域でも取り組みが 進んでいます

市内の自主防災組織や町内会などでは、地域の高齢者などの見守り活動や災害時の避難計画を話し合っている地区も数多くあります。

また、津山市では、住民や介護事業所などと連携して個別避難計画の作成を支援しています。

災害被害を 「防ぐ」と「減らす」

平成30年7月豪雨災害では、倉敷市真備町で、52名の尊い生

命が失われ、その約8割が70歳以上の高齢者の方々でした。

大雨や台風、地震、広島風など自然災害の発生は、私たちには止めることはできませんが、痛ましい被害の発生は、私たちの力で減らすことができます。それが「防災・減災」です。

まず、ご家庭の「マイ・タイムライン」や「個別避難計画」を作成してみませんか。これが地域の防災力向上につながります。

(文責・防災士 山下幹芳)



津山市ホームページ
個別避難計画



津山市ホームページ
マイタイムライン

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ケアマネジャーの

役割



ケアマネジャーは

住み慣れた地域で
暮らし続けることが
できるよう
お手伝いします。

ケアプランの評価 (モニタリング)

- ケアプランの実施状況を把握・評価
- 最低月1回ご自宅を訪問

最初の相談 (インテーク)

- 契約・重要事項・個人情報に関する説明と同意
- 生活の困りごとの確認

ケアプランの役割分担 (サービス担当者会議)

- 専門的見地から意見交換
- ケアプランを検討
- 目標を共有、役割分担

ケアマネジメントの流れ

困りごとの整理 (アセスメント)

- ご自宅を訪問、ご利用者とご家族に面接
- 生活の困りごとを整理

望む暮らしの設計図 (ケアプラン作成)

- ご利用者の望む暮らし、自立した在宅生活を設計
- ケアプランの作成

その他、 支援すること

- 入院時に医療機関と連携し退院後の生活で困らないようサービスを調整します。
- 必要な時には通院へ同行する等、医療機関とも連携を図ります。
- 施設等への紹介をします。
- ご利用者・ご家族の状況を確認しながら、支援していきます。

TOPICS 近況報告



「いちご狩り」



「こいのぼりと兜」

軽費老人ホーム 第2日本原荘

奈義傑作展に作品を出品

2025

2/7

習字教室に参加されているご利用者の作品を奈義町の傑作展に出品しました。ご自分の書いた字を見られ、嬉しそうな顔でした。

傑作展は習字だけでなく、絵や編み物、陶芸など奈義町に居られる方の作品が出されており、それぞれの作品に「ほお、すごいなあ」と感心されていました。



記念撮影



ご利用者作品

津山ナーシングホーム

おやつバイキング

2025

3/13

「こんなおやつが食べたい!」と、ご利用者の希望をお伺いし開催しました。

ミニドーナツ、ポップコーン、雪の宿など。

コーヒーメーカーを使用し、淹れたてのおいしいコーヒーや紅茶、フレッシュなジュースや炭酸飲料などを揃えました。

好きなおやつと飲み物を選んでいただき、楽しい時間を過ごしました。



「どれが美味しいかな?」

日本原荘デイサービスセンター

火災想定避難訓練

2025

3/27

火災想定での避難訓練を行いました。キッチンカウンターからの出火の想定で、ダイニングから職員がご利用者を誘導し、屋外に出て、玄関前に集まりました。最後は点呼を行い、皆さんの無事をお互い確認して終わりました。



避難の様子

特別養護老人ホーム 日本原荘

お花見

2025

4/9

日本原荘の敷地内でお花見をしました。麗かな春の日差しの下で、「綺麗じゃなあ」

「気持ちいいなあ」等の声が聞かれました。

桜の木の下で少し体操をすると、普段は

動かない所までしっ

かり動かせました。



桜の下で「はいチーズ」

日本原荘 在宅部門 配食サービス

創立記念日お祝い献立

2025

4/10

日本原荘の創立記念日にちなんだお祝い膳を配達させていただきました。

ご利用者より「おいしかったよ」との言葉をいただきました。



赤飯、鮭の照り焼き、炊き合わせ等

特別養護老人ホーム 第3日本原荘

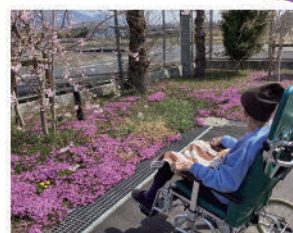
春を感じながらぶらり散歩

2025

4月中

長い冬が終わり、外を見たら草花が芽吹き、咲き始めていました。

ご利用者から「長い冬眠の時期が終わったから外に散歩でも行こう」という声があり、芝桜や小米桜を見に、天気の良い日に散歩に出かけました。



ぶらり散歩

総合ケアサービスセンター かつた

百歳記念式典



岡田静子様



丸尾多美子様

今年に入り、1月1日に岡田静子様が、3月20日に丸尾多美子様が、満100歳を迎えられました。

岡田様は1月8日に、丸尾様は3月17日にささやかではございますが、記念式典を執り行いました。

それぞれご家族がお祝いに来られ美作市健康福祉部長より記念品とお祝い金などが贈呈されました。お二人方とも笑顔でお話されていました。

当施設では105歳を最高齢として、8月に100歳を迎えられる方を含め、100歳以上の方が6名在籍されています。